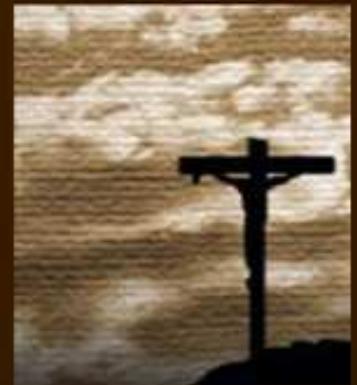


「赦し」

十字架とわたし

～2005年受難節～



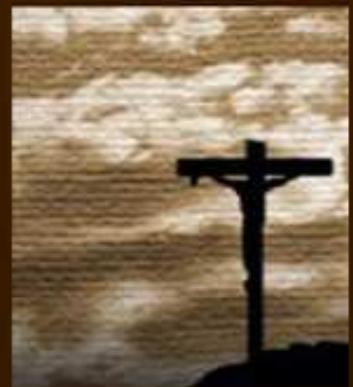
十字架という事実

- 聖書以外の証言
 - タキトス (A.D.55-120 ローマの歴史家)
 - スートニアス (A.D.90-150 皇帝の最高秘書)
 - ヨセフォス (A.D.37-97 ユダヤ人歴史家)
- 約2000年前に、パレスチナ地域にイエスという人物がいたことと、彼が十字架刑に処せられて殺されたことは歴史的事実である



歴史的事実の意義

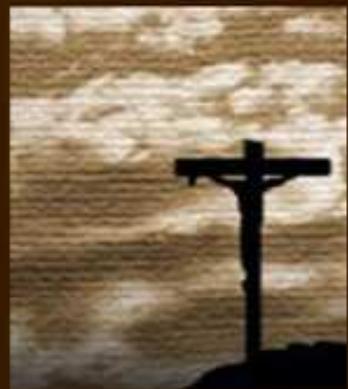
- わたしと関係のない事実
 - 「大化革新」「クレオパトラ」「秦の始皇帝」
- わたしと関係のある事実
 - 何かを学ぶことのできる事実
 - 偉人たちの生き方、「戦争」
 - 生き方を変える事実



歴史的事実の意義

- わたしと関係のない事実
 - 「大化革新」「クレオパトラ」「秦の始皇帝」
- わたしと関係のある事実
 - 何かを学ぶことのできる事実
 - 偉人たちの生き方、「戦争」
 - 生き方を変える事実

イエスの十字架は？



「表現死」としての十字架

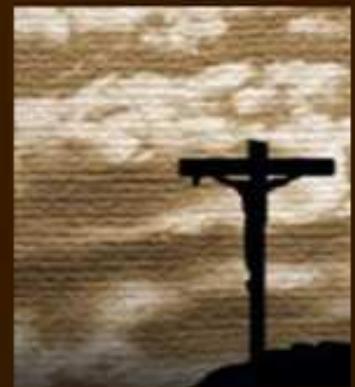
イエスは十字架によって死ぬことを選んだ
人間の考え出した最もむごい殺し方
多くの人が目撃し、確認できる

イエスは十字架によって何かを成し遂げようとした
十字架でなければ成し遂げられない何か
イエスは十字架によって何かを伝えようとした
十字架でなければ表現できない何か



十字架と私

- ・イエスの十字架はわたしにどのような意味を持っているのか
- ・イエスの十字架からわたしは何を学んだのか
- ・イエスの十字架によってわたしの生き方はどう変わったのか



赦されなければならぬこと

- ・自分の中には汚いもの、歪んだもの、醜いもの、恥すべきものがあると知っている
 - このまま地獄に行ったとしても文句は言えない
- ・イエスの十字架は、わたしの罪深さは自分で背負え切れないことを教えてくれた
 - わたしが地獄に行って済む問題ではない



赦されたこと

- ・ イエスの十字架はわたしの身代わりであった
「実にキリストは、わたしたちがまだ弱かったころ、定められた時に、不信心な者のために死んでくださいました。」
<ローマ 5:6>
- ・ もしイエスの十字架がわたしの身代わりであったのなら、確かにわたしは赦された
「これは、罪が赦されるように、多くの人のために流されるわたしの血、契約の血である。」


<マタイ26:28>

神が黙って赦せばよいのでは？

- ・ 十字架は赦された確証である

「神は、わたしたちの一切の罪を赦し、規則によつてわたしたちを訴えて不利に陥れていた証書を破棄し、これを十字架に釘付けにして取り除いてくださいました。」

<コロサイ 2:14>



赦すべきこと

- ・イエスは隣人を赦せと教えられた

「イエスは言われた。『あなたに言っておく。七回どころか七の七十倍までも赦しなさい。』

—<マタイ 18:22>

- ・わたしも赦さなければならない

「互いに親切にし、憐れみの心で接し、
神がキリストによってあなたがたを赦してください
さつたように、赦し合いなさい。」

<エフェソ 4: 32>



十字架という事実

- ・ どういう意味を持っているか？
- ・ 何を学ぶか？
- ・ 生き方をどう変えるか？

